

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	電磁環境小委員会		主 査 名：平井 淳一 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (電磁環境運営委員会)		委員長名：井上 勝夫 主 査 名：岡崎 靖雄
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・建物の電磁環境に関する各種計測法及び評価法の確立と標準化 2008 年度 1. シールド性能計測方法の標準化 2. 新しい計測方法 (到来波によるシールド性能評価) の調査		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：平井淳一 (鹿島建設) 幹事：三枝健二 (日本大学) 委員：石井啓司 (国土交通省), 影山健二 (株竹中工務店), 片野正昭 (セントラル硝子 (株)), 木村健一 (株フジタ), 黒沼弘 (協立電子工業(株)), 志田浩義 (株トーキンEMCエンジニアリング), 多田和照 (アジレント・テクノロジー(株)), 西村俊哉 (日本板硝子環境アメニティ(株)), 長田耕治 (清水建設(株)), 堀之内淳 (光洋産業(株)), 宮川忠明 (安藤建設(株)), 吉野涼二 (大成建設(株)), 富樫元康		
設置 WG (WG 名：目的)			
2008 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無：未公開	

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 6 回電磁環境シンポジウム 「現場における計測評価法」 参加者数 51 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 「現場における電磁シールド性能測定法」として、アカデミックスタンダードの原案を作成し、「第 6 回電磁環境シンポジウム」の場を利用して公表し、パブリックコメントを求めた。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 広く情報の公開並びにパブリックコメントの獲得によりほぼ目標とする成果を達成した。 2. 数次の調査を実施し、ほぼ目標とする成果を達成した。
委員会活動の問題点・課題	なし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2008 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>建物の電磁環境に関する各種計測法及び評価法の確立と標準化作業のうち、シールド性能計測方法の標準化についてはシンポジウム開催により広く周知並びにパブリックコメントを得ることができ所期目標を達成した。また、新しい計測方法（到来波によるシールド性能評価）の調査においても数次の調査を実施し、この解析・評価により今後の可能性評価に向けての貴重なデータを得た。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。